

もみのき病院 高知ガンマナイフセンター発行
発行者 センター長 森木 章人

ガンマナイフ治療最前線情報

2025年5月発行 第149号

散発性の小～中型前庭神経鞘腫の一次治療における定位放射線手術：系統的レビューとメタアナリシス

Stereotactic radiosurgery in Primary Treatment of Sporadic Small to Medium(<3 cm)

Vestibular Schwannomas: A systematic Review and Meta-Analysis.

Bryce J Bonin, Scott Beckman, Sultan Mahmud, Danielle Terrell, Stephen Garrett Whipple, Ryan Diaz, Mohammad Alfrad Nobel Bhuiyan, Deepak Kumbhare, Chiachien Jake Wan, Bharat Guthikonda, Arney R Savardekar

World Neurosurg.2025 Feb: 194:123304.doi:10.1016/j.wneu.2024.10.033.Epub 2024 Nov 14.

要旨

目的：前庭神経鞘腫の一次治療としての定位放射線手術の使用に関する文献を分析し、有効性と治療に関連した神経障害をさらに評価すること。

方法：2,001年1月から2020年12月までの関連研究をオンラインデータベースで検索し、抽出した。散発性前庭神経鞘腫を主に放射線手術で治療し、聴力温存に関する記録をレビューした。追跡期間が最低36カ月未満、初回治療に放射線手術を行っていない、また神経線維腫症2型患者を対象とした研究は除外した。

結果：平均追跡期間62.5カ月、4,286人の患者を含む33の研究が最終分析に含まれた。33の研究すべてに適格な聴力データが含まれており、全体として実用聴力の維持率は58.27%であった。腫瘍制御率については、3,822名の適格患者を対象とした27件の研究を分析した。全体では、腫瘍制御率は92.98%の症例で報告された。治療後の顔面神経障害については27件の研究を分析した。これは症例の1.53%で報告された。

結論：今回の解析で示されたように、定位放射線手術は散発性前庭神経鞘腫に対する安全かつ有効な一次治療法である。放射線手術は腫瘍の制御と聴力の温存に関して有効であり、治療後の顔面神経機能障害の発生率も低い。

中等度（Ⅲ）または高度（Ⅳ-Ⅴ） Spetzler-Martin Grade 動静脈奇形に対する定位放射線手術：国際定位放射線手術診療ガイドライン

Stereotactic Radiosurgery for Intermediate（Ⅲ） or High（Ⅳ-Ⅴ） Spetzler-Martin Grade Arteriovenous Malformations: International Stereotactic Radiosurgery Society Practice Guideline.

Christopher S Graffeo, Rupesh Kotecha, Arjun Sahgal, Laura Fariselli, Alessandra Gorgulho, Marc Levivier, Lijun Ma, Ian Paddick, Jean Regis, Jason P Sheehan, John H Suh, Shoji Yomo, Bruce E Pollock.

Neurosurgery.2025 Feb 1 ;96(2):298-307.doi:10.1227/neu.0000000000003102.Epub 2024 Jul 11.

要旨

背景と目的：Spetzler-Martin GradeⅢ-Ⅴの動静脈奇形(AVM)患者の管理における定位放射線手術(SRS)の役割を示すコンセンサスガイドラインは存在しない。我々は発表された文献の批判的系統的レビューに基づき、GradeⅢ - ⅤのAVMに対するSRS診療ガイドラインを確立することを試みた。

方法：1986年から2023年までのMedline, Embase, Scopusのシステマティックレビューおよびメタアナリシスの推奨報告項目に準拠した検索を行い、GradeⅢ - ⅤのAVM10例以上で、追跡期間中央値24カ月以上のSRS後の転帰を報告した文献を検索した。一次エンドポイントはAVMの消失とSRS後の出血、副次的エンドポイントは線量変数、Spetzler-Martinパラメータ、神経学的転帰とした。

結果：合計で2,463の抄録をスクリーニングし、196の原稿をレビューし、9つが厳密な包括基準を満たした。AVM全体のサンプル1,634例の内訳は、GradeⅢが1,431例(88%)、GradeⅣが186例(11%)、GradeⅤが11例(1%)であった。SRS後の追跡期間中央値はGradeⅢで53カ月、GradeⅣ - Ⅴで43カ月であった(範囲：2-290;12-262)。GradeⅢのAVMの粗閉塞率は72%、GradeⅣ-ⅤのAVMの粗閉塞率は46%であった。SRS後の出血はGradeⅢでは7%であったのに対し、GradeⅣ-Ⅴでは17%であった。出血または放射線誘発性合併症による永久的障害または死亡は、GradeⅢで86例(6%)、GradeⅣ-Ⅴで22例(12%)であった。

結論 : Spetzler-Martin GradeⅢのAVM患者のほとんどはSRSの治療成績が良好である；しかしGradeⅣ-ⅤのAVMの閉塞率は50%未満である。利用可能な研究は多様であり、グレード特異的な詳細な長期的転帰は不十分である。

もみのき病院 高知ガンマナイフセンター

〒780-0952 高知県高知市塚ノ原6-1

TEL : (088) 840-2222

FAX : (088) 840-1001

E-mail : mail@mominoki-hp.or.jp

URL : <http://mominoki-hp.or.jp/>

担当医 : 森木、道上、刈谷 事務担当 : 蒲原

2025年7月に第28回日本臨床脳神経外科学会を高知で開催予定です。現在事前参加登録中です。この学会は脳神経外科を専門とする民間病院を中心とする病院学会です。多職種で参加できる数少ない学会になります。スタッフの方をお誘いあわせのうえ、ぜひご参加下さい。

学会ホームページ : <https://convention.jtbcom.co.jp/28jansc/>

The 28th Annual Congress of Japan Association Neurosurgical Clinics

第28回 日本臨床脳神経外科学会

多職種協働によるイノベーション
~未来への航海~

会期 2025年7月19日(土)・20日(日)
会場 高知県立県民文化ホール 他
会長 内田 泰史 (医道法人社久会 もみのき病院 理事長)

新着情報

- 2024.02.25 **NEW** 演題募集期間を2025年3月14日(金)17:00まで延長しました。
- 2024.02.13 指定演題登録を掲載しました。

AGAオンラインnavi

食感!高知「食感!高知」篇
情感!高知「情感!高知」篇
体感!高知「体感!高知」篇